

鴨川シーワールドで誕生したカマイルカの赤ちゃん(手前)。母親に寄り添って元気に泳いでいる(同館提供)



カマイルカ赤ちゃん誕生

鴨川シーワールドで3例目

鴨川市の鴨川シーワールドで、カマイルカの雄の赤ちゃんが誕生した。同館での繁殖は3例目。赤ちゃんは母親に寄り添い元気にプール内を泳いでおり、一般来館者はロッキーフールド地階の水中観覧窓から見る事ができる。母親は初産のローラ(体長205㌢、体重139㌢)、父親はルパン(体長204㌢、体重126㌢)でいずれも推定17歳。5月23日午前5時47分に破水して、7分後に尾びれが見えた。その後、順

調に進み午前7時7分に出産。赤ちゃんは自力で水面へ泳いで呼吸し、約9時間後に初授乳が確認された。体長約100㌢、体重約15㌢だった。カマイルカの長期飼育は難しく、同館で2006年5月に誕生した「キララ」が当時の国内長期飼育記録392日を上回り、現在も更新を続けている。同館広報担当者は「今後も繁殖と出産育児、長期飼育を推進し、実績を積み重ねていきたい」と話している。